

2025

佐賀のうたごえ祭典 in 鹿島

被爆 80 年 うたごえに平和の願いをこめて
～つなごう！ いのちの輝き・地域の宝～



9/20 (土)

開場 12:30 開演 13:30

鹿島市民文化ホール
SAKURAS

チケット 1000 円 一般

500 円 小中高生・障がい者

主催 佐賀のうたごえ祭典 in 鹿島実行委員会
共催 ほとめき会

後援 / 佐賀県、佐賀県教育委員会、鹿島市、鹿島市教育委員会、嬉野市、嬉野市教育委員会、小城市、小城市教育委員会、武雄市教育委員会、太良町、太良町教育委員会、白石町、白石町教育委員会、江北町、江北町教育委員会、大町町、大町町教育委員会、鹿島ケーブルテレビ（ネット鹿島）

第1部 合唱発表会

鹿島うたごえ合唱団
嬉野うたごえサークル
うたごえサークルおたふく
嬉野キリスト教会
女声コーラスさくら
かしまし娘
他

第2部 音楽会

(シングアウト)
行成面浮立（鹿島）
民謡 平成会
津軽三味線 森永基本
踊り ほとめき会
合同合唱 「ふるさとは今もかわらず」
「大地讃頌」

チケット販売所

■鹿島市生涯学習センターイブル ■嬉野市社会文化会館リバティ
■鹿島市民文化ホール SAKURAS ■ベジキッチン（塩田町塩田津）

お問い合わせ 090-9574-0320 (松岡) 080-4277-3896 (松田)

Performers Profile

森永基本 津軽三味線



幼少の頃、日本の伝統芸能に興味を持ち三味線と日本舞踊を習い始める。三味線を現代（いま）に伝えたい』という想いから、和と洋の融合をテーマに時代をトランスしたパフォーマンスを展開している。2013年に往来の「和楽器」の枠を大胆に取り払った意欲作「Deux VISAGES」をリリース。同年に自身で作曲した曲を自ら振り付けして奏で舞うという業界初のDVD ミュージッククリップを発表する。自身のライブでは「歌・舞・奏」という独自のスタイルで日本の伝統芸能を発信している。

また東日本大震災復興支援チャリティー公演「結」を開催するなど、社会貢献活動にも力を入れている。

平成会 民謡



私達は「佐賀平成会」に所属し、会員は伊万里が本部で伊万里、唐津、武雄、鹿島に 100 人近くいます。会長は渕英詔先生で、色々な大会でほとんどが上位に入ります。毎年全国大会が 10 月にあり、この大会でも優勝した人が何人か出てます。その中で、子供達は 30 人近くいて、ほとんどが上位に入賞し、少年少女の全国大会でも上位に入ってます。今回はその子供クラブに主に佐賀の民謡、九州の唄を歌って貢います。

合同合唱団 「ふるさとは今もかわらず」 カンターラ「土の歌」より「大地讃頌」



2019年「こわしてはいけない」の演奏指揮池辺晋一郎 佐賀市文化会館 9月に鹿島で全体練習を行います。今回演奏するのは2曲です。

「ふるさとは今もかわらず」は、新沼謙治が作詞・作曲した楽曲です。岩手県大船渡出身の彼が東日本大震災や妻

佐賀のうたごえ
合同合唱団は佐賀県西部（鹿島、嬉野を中心に）東部（佐賀、神埼、鳥栖を中心に）に分かれて練習をし、

を亡くすという経験を乗り越え、ふるさとの明るい未来と復興を願う思いを込めて作っています。

音楽会、最後のステージを飾るのは「大地讃頌」カンターラ『土の歌』の第7楽章です。第3楽章「死の灰」では、原爆を作り投下した人間の愚かさを嘆き、第5楽章「天地の怒り」は大地が持つ自然の力への警告。第6楽章「地上の祈り」は美しい大地を思い戦争という狂気をなくすための祈り。これに続くのが、第7楽章「大地讃頌」です。人間が犯した歴史の汚点と再びその過ちを起こさないという思いを強くして歌います。

被爆 80 年 うたごえに平和の願いをこめて

シングアウトの曲紹介（会場のみなさんと一緒に歌います）

「長崎本線いつまでも」 2022 年 9 月西九州新幹線が開業。それとともに長崎本線は大幅な減便となり、鹿島市などの沿線住民にとって、通勤通学など生活が不便になってしまいました。「鹿島うたごえ合唱団」ではこの問題を考え、鹿島市民の思いを歌にして広めようと決めました。2023 年「日本のうたごえ創作合宿」が佐賀県で開催され、そこで生まれたのがこの曲です。

「原爆許すまじ」 1954 年 3 月、アメリカは太平洋ビキニ環礁で水爆実験を行いました。海中の珊瑚を粉々にして舞い上がらせ、放射能を含んだ「死の灰」を降らせました。日本のマグロ漁船「第五福竜丸」は、その「死の灰」を浴びます。うたごえ運動は原水爆反対を訴える歌の創作を呼びかけ、中央合唱団が創作した曲です。

「長崎の鐘」は、原爆によって破壊された長崎で、被爆体験を詩に詠んだ永井隆博士の同名の著書を基に作詞・作曲された楽曲です。被爆者の悲しみや苦しみを乗り越え、平和への希望を歌い上げています。長崎医科大学で被爆し、重傷を負いながらも救護活動に尽力した永井博士の体験が色濃く反映されています。「長崎の鐘」とは原子爆弾の投下により吹き飛ばされてしまったカトリック浦上教会（旧浦上天主堂）の「アンジェラスの鐘」のことです。

ほとめき会 踊り



鹿島の街に賑わいを取り戻そうと組織された女性集団です。今は男性の会員もいます。

中心商店街での「鹿島ほとめき祭り」の取り組みなど年 1 ~ 2 回開催しています。「酒蔵祭り」「地域のお祭り」などいろんな催しに呼ばれます。佐賀県民謡「岳の新太郎さん」「かしま音頭」「かしま一声浮立」の踊りで多くのみなさんがほとめています。コロナ前は「博多港祭りどんたく」にも毎年参加してきました。昨年は「日本のうたごえ祭典」にも参加して会場を盛り上げました。編み笠に黒紋付姿がみなさんをひきつけています。

行成面浮立（鹿島）



鹿島市は、面浮立や鉢浮立、一声浮立など民族芸能が盛んな地域です。

約 250 年の歴史がある行成面浮立は豊作を感謝し、天下泰平、悪霊退散を祈願。古くから受け継がれてきた行成面浮立は一時中断。区内の青壮年達が伝承芸能を復活させようと、昭和 55 年「行成面浮立保存会」を結成。

先輩方指導のもと、子供たちと共に稽古を重ね地元神社や各種イベントに奉納。

鹿島の伝統芸能の宝として、次世代へつなげていきます。